

医科学総論

担当講座（分野）：担当講座(分野)： 口腔医学講座(関連医学分野)、薬理学講座(病態制御学分野)、
医学部外科学講座、神経内科・老年科分野、神経精神科学講座

第3学年 前期

	講義/演習	実習
前期	28.5時間	00.0時間
後期	00.0時間	00.0時間

学修方針（講義概要等）

3年次で症候学および内科各疾患、外科学総論、神経精神疾患について学ぶことを目的とする。これまで講義および実習で得た基礎医学の知識や経験を生かし、疾患の病態およびその対応について学修する。

教育成果（アウトカム）

歯科医師が必要とする医学的知識を症候学から代表的疾患まで網羅し、さらに外科学における観点も踏まえて医学的な基本知識の習得を目的とし、基礎専門科学目で学んだ知識をもとに、疾患の病態を考えることが出来る。
(ディプロマ・ポリシー：4、8)

事前事後学修の具体的内容及び時間（30分）

シラバスに記載されている次の授業内容を確認し、教科書等を用いて事前学修(予習・復習)を行うこと。
各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

講義/演習日程

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
4月19日(火) 1限	千葉俊美教授	内科学 内科診察の基本 症候学1	1. 診察の手順について理解し説明できる。 2. 発熱、全身倦怠感、体重減少・増加、ショック、意識障害、失神、脱水、浮腫、けいれん、めまいについて理解し説明できる。 [E-6-①]
4月19日(火) 2限	千葉俊美教授	内科学 症候学2	1. 咳、喀痰、喘鳴、チアノーゼ、胸痛、呼吸困難、息切れ、動悸、頻脈、徐脈、不整脈、血圧上昇・低下について理解し説明できる。 [E-6-①]
4月26日(火) 1限	千葉俊美教授	内科学 症候学3	1. 食思不振、悪心、嘔吐、下痢、貧血、睡眠障害、頭痛、頭重感、摂食・嚥下障害について理解し説明できる。 [E-6-①]
4月26日(火) 2限	千葉俊美教授	代謝疾患	1. 糖尿病、骨粗鬆症について理解し説明できる。 [E-6-②]

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
5月10日(火) 1限	病態制御学分野 小笠原正人教授	循環器疾患 1 ディスカッション方式の 講義を行う。	1. 循環器薬とその作用について理解し説明できる。 2. 心筋梗塞、狭心症、心不全、心内膜炎について理解し説明できる。 [E-6-②] 事前学習：内科学に関する国家試験問題、内科学教科書および過去の講義資料を確認しキーワードを抽出すること。 事後学習：講義終了10分前にポストテストを行う。また、講義に関する国家試験問題を解き内容を整理すること。
5月10日(火) 2限	病態制御学分野 小笠原正人教授	循環器疾患 2 脳血管疾患 ディスカッション方式の 講義を行う。	1. 高血圧症、不整脈について理解し説明できる。 2. 脳内出血、脳梗塞について理解し説明できる。 [E-6-②] 事前学習：内科学に関する国家試験問題、内科学教科書および過去の講義資料を確認しキーワードを抽出すること。 事後学習：講義終了10分前にポストテストを行う。また、講義に関する国家試験問題を解き内容を整理すること。
5月17日(火) 1限	千葉俊美教授	呼吸器疾患 1	1. 気管支炎、気管支喘息、肺炎、COPDについて理解し説明できる。 [E-6-②, C-3-4)-(8)-①, C-3-4)-(8)-②]
5月17日(火) 2限	千葉俊美教授	呼吸器疾患 2 感染症	1. 肺癌、肺結核、感染症、菌交代現象などについて理解し説明できる。 [E-6-②]
5月24日(火) 1限	千葉俊美教授	血液疾患 1	1. 貧血、白血病について理解し説明できる。 [E-6-②]
5月24日(火) 2限	千葉俊美教授	血液疾患 2	1. 出血性素因、血友病、von Willebrand病、AIDSについて理解し説明できる。 [E-6-②]
5月31日(火) 1限	千葉俊美教授	消化器疾患 1	1. 胃潰瘍、十二指腸潰瘍、急性・慢性肝炎、肝硬変、胃食道逆流症について理解し説明できる。 [E-6-②, C-3-4)-(7)-①, C-3-4)-(7)-②]
5月31日(火) 2限	千葉俊美教授	消化器疾患 2	1. 胃癌、大腸癌について理解し説明できる。 [E-6-②]
6月7日(火) 1限	千葉俊美教授	内分泌疾患	1. 甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症、副腎機能亢進症、副腎機能低下症について理解し説明できる。 [E-6-②, C-3-4)-(9)-①]
6月7日(火) 2限	千葉俊美教授	腎疾患	1. 腎炎、慢性・急性腎不全について理解し説明できる。 [E-6-②, C-3-4)-(10)-①]
6月14日(火) 1限	外科学講座 秋山有史准教授	外科学 1	1. 侵襲と生体反応、外科的感染症、ショックについて理解し説明できる。 [E-6-②]

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
6月14日(火) 2限	外科学講座 新田浩幸教授	外科学2	1. 周術期管理、滅菌・消毒、出血・止血について理解し説明できる。 [E-6-②]
6月17日(金) 4限	脳神経内科・老年科分野 石塚直樹講師	脳神経内科疾患	1. 主要な脳神経内科疾患について理解し説明できる。 [E-6-②]
6月20日(月) 2限	神経精神科学講座 小泉文人助教	神経精神疾患	1. 統合失調症、うつ病、双極性障害、アルコール・薬物依存症について理解し説明できる。 [E-6-②]
6月21日(火) 2限	千葉俊美教授	自己免疫疾患	1. 膠原病など自己免疫疾患について理解し説明できる。 [E-6-②]

教科書・参考書・推薦図書（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書 名	著者氏名	発行所	発行年
教	歯科医師のための内科学 (第1版)	千葉俊美, 山田浩之編	医歯薬出版	2021年
教	標準外科学第16版	北野正剛監修、坂井義治他編	医学書院	2022年
教	Pocket Drugs 2022	福井次矢 監修、小松康弘他編	医学書院	2022年
参	イヤートート2021: 内科・外科編		Medic Media	2020年
参	内科学(第11版)(分冊版)	矢崎義雄 総編集	朝倉書店	2017年
参	病気がみえる(各シリーズ)	医療情報科学研究所/編集	Medic Media	2009-17年
参	標準精神医学第7版	野村総一郎 監修	医学書院	2018年
参	シリーズまとめてみた精神科 第2版	天沢ヒロ 著	医学書院	2019年

成績評価方法

定期試験で評価する (100%)
*各講義数に応じた問題数による総合試験を実施

特記事項・その他

特記事項なし

授業に使用する機械・器具と使用目的

使用機器・器具等の名称・規格	台数	使用区分	使用目的
デスクトップパソコン一式 EliteDesk 800 G5 SF/CT	1	視聴覚用機器	実習(講義)の資料作成用